

◆彫刻専攻アドミッション・ポリシー

【求める人物像】

- ・彫刻における基礎的な観察力、造形力、表現力を備えている人
- ・自己を深く見つめ自然や社会との関係を思索している人
- ・彫刻における造形行為と自己の将来を肯定的に重ね合わせることでできる人

【入学前に身につけてほしい学習成果】

- ・基礎的な学力（国語、外国語、その他の科目）
- ・対象の形態を把握する「観察力」と、画面上で確かな存在感を表現する基礎的な「描写力」
- ・対象の内に彫刻的な量塊と動勢を捉える「観察力」と、全体と細部の調和をとり量感豊かに表現する基礎的な「造形力」
- ・論理的な思考力、コミュニケーション能力、主体的な学習意欲

【入学者選抜区分】

- ・彫刻専攻では、一般選抜（前期日程）、総合型選抜を実施します。

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

1. 一般選抜

大学入学共通テストにおいて国語、外国語及び任意の1科目の合計3科目を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力等を測り評価します。また、個別テスト等において、実技検査、面接試験（自己評価を含む）を実施し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。面接試験においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。

2. 総合型選抜

小論文、実技検査（事前に制作された作品）、面接試験と、作品資料（作品ファイルやクロッキー帳等）の提出により審査を行い、可否を判定します。事前に制作された作品と作品資料の審査では、日頃の制作に対する意欲や取り組みを評価します。小論文では論理的な思考力を、面接試験（自己評価を含む）では主体性及び将来性を測り評価します。面接試験においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。